

2023年11月20日

KISSEI

KITZ
株式会社 **キッツ**

KOA

キッセイ薬品工業株式会社

株式会社キッツ

KOA株式会社

セイコーエプソン株式会社

株式会社八十二銀行

株式会社ユウワ

長野県企業局

中部電力ミライズ株式会社

セイコーエプソン(株)

 **八十二銀行**

 **YUWA**


水の恵みを未来へつなぐ
長野県企業局


中部電力ミライズ

長野県内の再生可能エネルギーの拡大に向けた 長野県および県内企業7社によるプロジェクトの開始

～「信州 Green 電源拡大プロジェクト第2弾」を通じて特定の発電所の開発を支援～

キッセイ薬品工業株式会社（以下「キッセイ薬品」）、株式会社キッツ（以下「キッツ」）、KOA株式会社（以下「KOA」）、セイコーエプソン株式会社（以下「エプソン」）、株式会社八十二銀行（以下「八十二銀行」）、株式会社ユウワ（以下「ユウワ」）、長野県企業局、中部電力ミライズ株式会社（以下「中部電力ミライズ」）の8者は、本日、長野県内の再生可能エネルギー電源の拡充を目的としたプロジェクトの開始について、協定書を締結いたしました。

エプソン、長野県企業局および、中部電力ミライズの3者は、2021年5月に「信州 Green 電源拡大プロジェクト^{※1}」を開始し、エプソンが利用した長野県産のCO₂フリー電気^{※2}の料金の一部を、長野県企業局や中部電力グループによる水力発電所の開発に活用してまいりました。

※1 一般財団法人新エネルギー財団が選定する「令和4年度新エネ大賞」において、「新エネルギー財団会長賞」を受賞

※2 中部電力ミライズが「信州 Green でんき」として販売。

本日より開始するプロジェクトは、「信州 Green 電源拡大プロジェクト」の第2弾として、新たに5社の県内企業を加え、長野県内での水力発電所の開発をさらに拡充させていくものです。

水力発電を始めとする再生可能エネルギーは、政府の目指す2050年カーボンニュートラルの達成に向け、導入量の拡大が不可欠であるとともに、環境に配慮した経営を重視する企業を中心に、需要が高まっております。

今回のプロジェクトでは、キッセイ薬品、キッツ、KOA、エプソン、八十二銀行、ユウワの6社が利用した「信州 Green でんき」の購入費用の一部を、長野県企業局の「湯の瀬いとおしき発電所（長野市）」の建設、および中部電力株式会社が保有する「二股水力発電所（北安曇郡白馬村）」の改修に活用いたします。これにより、長野県内の再生可能エネルギーを、合計で約2,600kW（想定年間電力量 約1,600万kWh）増加させることが可能となります。今回のプロジェクトを通じて、電気のバリューチェーンを構成する発電事業者、小売事業者、利用者の3者が連携し、水力発電所の拡大に必要な資金を安定的に確保することで、対象となる発電所の開発・改修等を直接支援してまいります。

8 者は、今後も、長野県内における再生可能エネルギーのさらなる拡大と「地産地消」を推進することにより、脱炭素社会の実現と地域社会の発展に貢献してまいります。

【プロジェクトにおける各者の参画理由・役割】

◆キッセイ薬品、キッツ、KOA、エプソン、八十二銀行、ユウワ

「信州 Green でんき」の購入を通じ、自社の CO2 排出量の削減と、長野県の再生可能エネルギー電源の拡大に貢献する。また事業所の創エネや省エネを積極的に推進していく。

◆長野県企業局

「信州 Green でんき」の利用拡大につながるよう、本プロジェクトを通じて拠出される資金を活用し、長野県企業局の再生可能エネルギー電源の開発を推進していく。

◆中部電力ミライズ

「信州 Green でんき」の普及と、その売上の一部を、中部電力グループや長野県企業局の電源事業者を通じて、長野県の再生可能エネルギー電源の拡大に活用していく。またお客さまの創エネや省エネに積極的に協力していく。

別紙：「信州 Green 電源拡大プロジェクト」の概要